

【別紙5 電子カルテ関連システム (7) 患者認証システム機能一覧】

項番	大分類	中分類	小分類	要求仕様
1-1	患者認証	共通	共通	下記、内容については、全て、モバイル端末用の専用アプリにて動作可能を前提とすること。
1-2	患者認証	共通	共通	下記、内容については、全て、Android9.0およびiOS14以上に対応していること。
2-1	患者認証	ログイン	ログイン	モバイルカルテシステムについては、電子カルテ（オーダリング）システムと共通の利用者ID、パスワードでログイン認証できること。
2-2	患者認証	ログイン	ログイン	利用者パスワードの有効期限チェックが行えること。
2-3	患者認証	ログイン	ログイン	パスワードは利用者以外に知られないようにするため、暗号化して電子カルテシステムに保存されること。
2-4	患者認証	ログイン	ログイン	利用者IDが印字されたバーコードでログイン認証できること。
2-5	患者認証	ログイン	ログイン	認証の解除（システムからのログオフ）は、任意のタイミングで行える機能を有すること。
2-6	患者認証	ログイン	ログイン	2要素以上（記憶、物理媒体、生体計測）の情報を組み合わせてログイン認証ができること。
3-1	患者認証	患者検索	患者検索	患者ID、カナ氏名、性別、生年月日、病棟患者、予約患者から、任意の患者を検索、表示できること。
3-2	患者認証	患者検索	患者検索	ログイン中の利用者の受持ち患者の一覧を表示できる機能を有すること。
3-3	患者認証	患者検索	患者検索	ログイン中の利用者の担当患者の一覧を表示できる機能を有すること。
3-4	患者認証	患者検索	患者検索	同姓同名が存在する患者を選択した場合、注意を促すメッセージを表示する機能を有すること。
3-5	患者認証	患者検索	患者検索	患者をバーコードにより選択できる機能を有すること。
3-6	患者認証	患者検索	患者検索	診療科、病棟、チーム、担当医といった条件で患者の一覧を表示できる機能を有すること。
3-7	患者認証	患者検索	患者検索	利用者毎に前回検索した条件を保存することが可能であること。かつ、前回検索した条件から患者一覧を初期表示できる機能を有すること。
3-8	患者認証	患者検索	患者検索	病棟患者一覧は、ログインした利用者が電子カルテ上で所属している病棟の患者が初期表示されること。
3-9	患者認証	患者検索	患者検索	病棟患者一覧では病室、患者氏名、患者ID、性別、生年月日、年齢、入院診療科が初期表示されること。
3-10	患者認証	患者検索	患者検索	患者情報を素早く参照できるよう、病棟患者一覧の表示を病棟病室順、50音昇順、50音降順に切り替えできる機能を有すること。
3-11	患者認証	患者検索	患者検索	救急患者一覧（予約日時/受付状態/患者氏名/診療科/性別アイコン/年齢/患者ID/トリアージ情報）から患者を選択できること。
4-1-1	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	共通	電子カルテ（オーダリング）システム上の診療情報の参照機能について以下の機能を有すること。
4-1-2	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	共通	情報参照する医療従事者が、情報の最新化等の特別な操作をすることなく常に最新の情報を取得できる機能を有すること。
4-1-3	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	共通	カレンダー上の日付の欄には、その日に診療情報が存在することが判別できるよう、入外/自科/他科に色分けされた帯をつけること。この帯は診療情報をもとに自動的に付与すること。
4-1-4	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	共通	患者検索を行い該当患者の診療情報を参照する際には、初期表示するオーダー（注射/指示/処方等）の絞り込みができること。絞り込みは、職種、利用者ごとに設定できること。
4-1-5	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	共通	ログインした利用者が設定した診療情報種の表示条件に合わせて診療情報の内容を初期表示する機能を有すること。
4-1-6	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	共通	患者基本情報（カナ氏名/生年月日/年齢/血液型/身長/体重/入外区分/病棟：入院の場合のみ）を表示すること。
4-1-7	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	共通	電子カルテ（オーダリング）にて、患者プロフィールに特定情報が登録された場合に、特定情報を示すアイコン（感染症/造影剤禁忌情報/アレルギー情報/授乳/妊娠/インプラント/障害情報/治療情報/血液浄化）を表示すること。
4-2-1	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	診療情報の表示内容について以下の表示機能を有すること。

4-2-2	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	電子カルテ（オーダリング）システムブラウザ上（カルテ二号紙）の内容が表示可能であること。
4-2-3	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	オーダ情報が表示可能であり、検査結果やレポート情報を参照可能であること。
4-2-4	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	シェーマの表示が可能であること。
4-2-5	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	シェーマは細部が判読できるよう拡大表示する機能を有すること。
4-2-6	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	看護記録が表示可能であること。
4-2-7	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	処方内容が表示可能であること。
4-2-8	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	注射内容が表示可能であること。
4-2-9	患者認証	電子カルテ（オーダリング）システムの診療情報参照	表示内容	電子カルテで患者掲示板に登録されたメッセージをカテゴリ（患者治療方針/患者本人・家族の訴え/スタッフ伝言板/個人メモ）毎に表示する機能を有すること。
4-3-1	患者認証	コミュニケーションツール	音声ソリューション連携	音声メモ入力アイコンをタップすることで、音声ソリューションを起動できること。
4-3-2	患者認証	コミュニケーションツール	音声ソリューション連携	音声入力した内容をテキストメモとして患者に紐づけて保存することができること。
4-3-3	患者認証	コミュニケーションツール	音声ソリューション連携	テキストメモは電子カルテで記録に転記することができること。
5-1-1	患者認証	記載業務	カルテ記載	ログインした利用者が電子カルテで記載可能な文書についてカルテ記載が行えること。
5-1-2	患者認証	記載業務	カルテ記載	ワープロ記載、画像を添付した記載、テンプレートの記載が可能であること。
5-1-3	患者認証	記載業務	カルテ記載	シェーマと撮影した画像の編集（トリミング/回転/手書き）が行える機能を有すること。
5-1-4	患者認証	記載業務	カルテ記載	カルテ参照画面とカルテ記載画面を円滑に切り替えて表示できること。
5-1-5	患者認証	記載業務	カルテ記載	記載方法の選択が行えること。
5-1-6	患者認証	記載業務	カルテ記載	テンプレートをを用いた記載が出来ること。
5-1-7	患者認証	記載業務	カルテ記載	記載した文書の削除が行えること。
5-1-8	患者認証	記載業務	カルテ記載	記載した文書の編集が行えること。
5-1-9	患者認証	記載業務	カルテ記載	電子カルテシステムで登録されたテンプレートを使用して問診票をモバイル端末より容易に記載できる仕組みであること。
5-1-10	患者認証	記載業務	カルテ記載	問診票記載時にシェーマを使った記載が行えること
5-1-11	患者認証	記載業務	カルテ記載	問診票の入力内容を保存する前に、入力した内容を確認できること。かつ、確認画面から修正できる機能を有すること。
5-1-12	患者認証	記載業務	カルテ記載	医療従事者がモバイルカルテシステムを渡して、患者自身で問診票を入力しやすい画面（患者入力モード）へ切り替えができること。
5-1-13	患者認証	記載業務	カルテ記載	患者が容易に問診票以外の画面および別の患者情報にアクセスできないよう制限をかけることができること
6-1-1	患者認証	看護業務支援	認証実施	リアルタイムに以下のオーダの認証が行える機能を有すること。(1)注射オーダ実施 / (2)輸血オーダ実施 / (3)採血管確認
6-1-2	患者認証	看護業務支援	認証実施	患者IDバーコード、オーダバーコード、利用者IDバーコードの読み取りができること。かつ、QRコードで印字されたバーコードの読み取りができること。
6-1-3	患者認証	看護業務支援	認証実施	当該患者に対し、実施時点で有効となるオーダであるか否かをチェックできる機能を有すること。
6-1-4	患者認証	看護業務支援	認証実施	有効でない場合はエラー等の中止の旨を表示できる機能を有すること。
6-1-5	患者認証	看護業務支援	認証実施	エラー時、画面表示に加えて音などで知らせることができる機能を有すること。

6-1-6	患者認証	看護業務支援	認証実施	オーダ実施直前に他の画面に表示しようとすると、実施忘れの防止のために確認画面を表示させる機能を有すること。
6-1-7	患者認証	看護業務支援	認証実施	毒薬・麻薬・劇薬などの使用時のリスクが高い薬品については、一般薬と区別が出来るように識別表示できる機能を有すること。
6-1-8	患者認証	看護業務支援	認証実施	リアルタイムに注射のオーダの実施が行える機能を有すること。
6-1-9	患者認証	看護業務支援	認証実施	患者バーコード認証後、注射バーコードを読み込むことにより、認証業務（患者と注射オーダの整合性が確認できる機能）が行える機能を有すること。
6-1-10	患者認証	看護業務支援	認証実施	ロット管理が必要な薬剤を実施した際は、ロット番号と使用薬剤の本数を入力できること。かつ、各入力方式（バーコード入力のみ/手入力のみ/バーコードと手入力）に対応できること。
6-1-11	患者認証	看護業務支援	認証実施	注射実施時刻が実施入力した時刻で電子カルテシステムに自動反映される機能を有すること。
6-1-12	患者認証	看護業務支援	認証実施	点滴注射指示においては、開始入力と終了入力が行える機能を有すること。
6-1-13	患者認証	看護業務支援	認証実施	点滴注射の開始入力および終了入力に関しては、それぞれ開始時刻および終了時刻が実施入力した時刻で電子カルテシステムに反映される機能を有すること。
6-1-14	患者認証	看護業務支援	認証実施	点滴注射の開始入力時には、流量入力が行える機能を有すること。
6-1-15	患者認証	看護業務支援	認証実施	点滴注射の終了入力時には、IN量入力が行える機能を有すること。
6-1-16	患者認証	看護業務支援	認証実施	点滴注射開始、終了実施時はコメントを入力できる機能を有すること。
6-1-17	患者認証	看護業務支援	認証実施	点滴注射の終了入力時には、患者認証をスキップして実施が行える機能を有すること。
6-1-18	患者認証	看護業務支援	認証実施	1回の実施入力毎に患者バーコードとオーダ情報のバーコードの認証を行える機能を有すること。
6-1-19	患者認証	看護業務支援	認証実施	連続した実施入力操作のために、患者バーコードを1回認証した後であれば、その後は該当機能を終了するまでオーダ情報のバーコードのみの認証を行える機能を有すること。
6-1-20	患者認証	看護業務支援	認証実施	実施入力を行う前に指示内容の確認ができる機能を有すること。
6-1-21	患者認証	看護業務支援	認証実施	オーダ情報のバーコード印刷後にオーダが変更された場合、注意を促す旨のメッセージを表示できる機能を有すること。
6-1-22	患者認証	看護業務支援	認証実施	認証時や実施時に、利用者、患者、その他実施状況や日時等の情報を、電子カルテシステムに記録できる機能を有すること。
6-1-23	患者認証	看護業務支援	認証実施	オーダ認証時、日付のチェックが行える機能を有すること。
6-1-24	患者認証	看護業務支援	認証実施	オーダの認証が行われ画面に表示された指示に関しては、表示されている間、他の端末（PC、PDA、スマートデバイス）で変更や削除ができないようにする機能を有すること。
6-1-25	患者認証	看護業務支援	認証実施	他の端末（PC、PDA、スマートデバイス）で当該オーダを操作している場合は、認証を行った際に実施入力ができないようにする機能を有すること。
6-1-26	患者認証	看護業務支援	認証実施	実施入力した内容がリアルタイムに電子カルテシステムに反映される機能を有すること。
6-1-27	患者認証	看護業務支援	認証実施	輸血パックに貼付されている日本赤十字社発行のバーコード情報をモバイル端末等から読み取り、指示確認を行える機能を有すること。
6-1-28	患者認証	看護業務支援	認証実施	自己血液においては、輸血システムから発行したバーコード情報を読み取り、指示確認を行える機能を有すること。
6-1-29	患者認証	看護業務支援	認証実施	輸血実施においては、開始入力と終了入力が行える機能を有すること。
6-1-30	患者認証	看護業務支援	認証実施	輸血の開始入力時には、流量入力が行える機能を有すること。
6-1-31	患者認証	看護業務支援	認証実施	「輸血療法の実施に関する指針」やガイドラインに準ずる区分（輸血開始5分後、10分後、15分後等）での経過入力が可能であり、入力結果は電子カルテの経過表に反映する機能を有すること。
6-1-32	患者認証	看護業務支援	認証実施	輸血の終了入力時には、IN量入力が行える機能を有すること。
6-1-33	患者認証	看護業務支援	認証実施	輸血の終了入力時には、副作用入力が行える機能を有すること。（連携する輸血部門システムによって更新先は異なるものとする。）
6-1-34	患者認証	看護業務支援	認証実施	輸血の開始入力時には、利用者の他に確認者を記録する機能を有すること。
6-1-35	患者認証	看護業務支援	認証実施	開始時刻および終了時刻は、実施入力した時刻で電子カルテシステムに自動反映される機能を有すること。
6-1-36	患者認証	看護業務支援	認証実施	1回の実施入力毎に患者バーコードと輸血パックのバーコードの認証を行える機能を有すること。
6-1-37	患者認証	看護業務支援	認証実施	連続した実施入力操作のために、患者バーコードを1回認証した後であれば、その後は該当機能を終了するまで輸血パックのバーコードのみの認証を行える機能を有すること。
6-1-38	患者認証	看護業務支援	認証実施	実施入力を行う前に製剤内容の確認ができる機能を有すること。
6-1-39	患者認証	看護業務支援	認証実施	確認した結果が電子カルテシステムにリアルタイムに記録される機能を有すること。
6-1-40	患者認証	看護業務支援	認証実施	実施した内容がリアルタイムに輸血部門システムに反映される機能を有すること。
6-1-41	患者認証	看護業務支援	認証実施	製剤の認証が行われ画面に表示された指示に関しては、表示されている間、他の端末（PC、PDA、スマートデバイス）で変更や削除ができないようにする機能を有すること。

6-1-42	患者認証	看護業務支援	認証実施	他の端末（PC、PDA、スマートデバイス）で当該製剤を操作している場合は、認証を行った際に実施入力ができないようにする機能を有すること。
6-1-43	患者認証	看護業務支援	認証実施	検体ラベル（採血管に貼付）に印字したオーダ情報のバーコードを認証し、認証した患者の採血管であることの確認がリアルタイムに行える機能を有すること。
6-1-44	患者認証	看護業務支援	認証実施	確認した結果が電子カルテシステムにリアルタイムに記録される機能を有すること。
6-1-45	患者認証	看護業務支援	認証実施	同じ患者の検体ラベルを連続して認証できる機能を有すること。
6-1-46	患者認証	看護業務支援	認証実施	検査システム発行のラベル（オーダ番号 + 採取管コード + 版数）を認証し、認証済みスピッツ本数と総スピッツ本数を表示し、採血管本数の確認ができること。
6-1-47	患者認証	看護業務支援	認証実施	認証した結果が電子カルテシステムにリアルタイムに記録される機能を有すること。
6-1-48	患者認証	看護業務支援	認証実施	スピッツごとのラベル情報も合わせて表示できること。
6-1-49	患者認証	看護業務支援	認証実施	採取しなかったスピッツ情報もLAINSに登録できること。
6-1-50	患者認証	看護業務支援	認証実施	ミキシング実施時刻が実施入力した時刻でシステムに反映される機能を有すること。
6-1-51	患者認証	看護業務支援	認証実施	1回の実施入力毎にオーダ情報のバーコードの認証を行える機能を有すること。
6-1-52	患者認証	看護業務支援	認証実施	実施入力を行う前に指示内容の確認を行える機能を有すること。
6-1-53	患者認証	看護業務支援	認証実施	オーダの認証が行われ、モバイル端末画面に表示された指示に関しては、モバイル端末上で表示されている間、他の端末（PCおよびモバイル端末）で変更や削除ができないようにする機能を有すること。
6-1-54	患者認証	看護業務支援	認証実施	他の端末（PCおよびモバイル端末）で当該オーダを操作している場合は、モバイル端末で認証を行った際に実施入力ができないようにする機能を有すること。
6-1-55	患者認証	看護業務支援	認証実施	実施入力した内容をリアルタイムに電子カルテシステムに反映する機能を有すること。
6-1-56	患者認証	看護業務支援	認証実施	輸血パックに貼付されている日本赤十字社発行のバーコード情報をモバイル端末等から読み取り、指示確認を行える機能を有すること。
6-1-57	患者認証	看護業務支援	認証実施	自己血液においては、輸血システムから発行したバーコード情報をモバイル端末から読み取り、指示確認を行える機能を有すること。
6-1-58	患者認証	看護業務支援	認証実施	受領確認時刻は、受領確認入力した時刻でシステムに反映される機能を有すること。
6-1-59	患者認証	看護業務支援	認証実施	受領確認入力時には、利用者の他に確認者を記録する機能を有すること。（機能を使用するか否かは、別途協議の上定めるものとする。）
6-1-60	患者認証	看護業務支援	認証実施	1回の受領確認入力毎に患者バーコードと輸血パックのバーコードの認証を行う機能を有すること。
6-1-61	患者認証	看護業務支援	認証実施	受領確認入力を行う前に製剤内容の確認を行える機能を有すること。
6-1-62	患者認証	看護業務支援	認証実施	オーダの認証が行われモバイル端末画面に表示された指示に関しては、モバイル端末で表示されている間、他の端末（PCおよびモバイル端末）で変更や削除ができないようにする機能を有すること。
6-1-63	患者認証	看護業務支援	認証実施	他の端末（PCおよびモバイル端末）で当該オーダを操作している場合は、モバイルで認証を行った際に受領確認入力ができないようにする機能を有すること。
6-1-64	患者認証	看護業務支援	認証実施	患者IDのバーコード認証後、当該患者への指示された出棟及び到着を伴う予約オーダ項目をスケジュールとして確認できる機能を有すること。
6-1-65	患者認証	看護業務支援	認証実施	確認画面起動時の勤務帯（深夜・日勤・準夜）を判断し、その勤務帯の指示されている予約オーダ項目を初期表示できる機能を有すること。
6-1-66	患者認証	看護業務支援	認証実施	予約オーダ項目をクリックすると、内容の詳細を確認できる機能を有すること。
6-1-67	患者認証	看護業務支援	認証実施	1画面の表示量を考慮し、勤務帯毎に指示情報を確認できる機能を有すること。
6-1-68	患者認証	看護業務支援	認証実施	指示情報を時系列で確認できる機能を有すること。かつ、時間指定の無い指示は、非時系列として勤務帯を変えても常に表示できる機能を有すること。
6-1-69	患者認証	看護業務支援	認証実施	時間指定の無い指示の表示・非表示は、切り替えを任意に行える機能を有すること。
6-1-70	患者認証	看護業務支援	認証実施	過去および未来の予約オーダ情報の出棟・到着の確認を行える機能を有すること。
6-1-71	患者認証	看護業務支援	認証実施	確認したことが電子カルテシステムにリアルタイムに記録される機能を有すること。
6-1-72	患者認証	看護業務支援	認証実施	患者ラベル（患者IDが貼りついた汎用的な帳票）のバーコードを認証し、認証した患者のものであることの確認がリアルタイムに行える機能を有すること。
6-1-73	患者認証	看護業務支援	認証実施	認証後には患者確認のため、プロフィール内容（カナ氏名/生年月日/年齢/血液型/身長/体重/入院区分/病棟）が表示されること。
6-1-74	患者認証	看護業務支援	認証実施	認証した結果が電子カルテシステムにリアルタイムに記録される機能を有すること。
6-1-75	患者認証	看護業務支援	認証実施	同じ患者の患者ラベルを連続して認証できる機能を有すること。
6-1-76	患者認証	看護業務支援	認証実施	処置行為の選択や材料の入力をして、コスト伝票の作成が可能であること。

6-1-77	患者認証	看護業務支援	認証実施	材料バーコードの認証による処置行為への材料追加が可能であること。
6-1-78	患者認証	看護業務支援	認証実施	入力した内容がリアルタイムに電子カルテシステムに反映される機能を有すること。
6-2-1	患者認証	看護業務支援	経過表	患者選択後、当該患者のバイタル情報、食事量情報、排泄情報、観察項目情報、測定値情報を取得して一括して入力できる機能を有すること。
6-2-2	患者認証	看護業務支援	経過表	電子カルテシステムにて患者毎に設定した項目が、確認できる機能を有すること。
6-2-3	患者認証	看護業務支援	経過表	電子カルテシステムにて患者毎に設定した項目が入力でき、かつ、リアルタイムに電子カルテシステムに反映される機能を有すること。
6-2-4	患者認証	看護業務支援	経過表	各項目の入力方式については、電子カルテシステムの経過表の入力方式と同じであること。かつ、入力方式のメンテナンスは経過表のマスタを変更することで同期が取れる機能を有すること。
6-2-5	患者認証	看護業務支援	経過表	各項目ごとに前回値を表示する機能を有すること。
6-2-6	患者認証	看護業務支援	経過表	各項目ごとに過去5回分の値を表示する機能を有すること。
6-2-7	患者認証	看護業務支援	経過表	バイタル項目において前回値を基準とした候補値一覧が表示され、選択により素早く入力ができる機能を有すること。
6-2-8	患者認証	看護業務支援	経過表	身長または体重として入力した値が、プロフィール登録値と差がある場合には警告を表示し、誤入力を抑止する機能を有すること。
6-2-9	患者認証	看護業務支援	経過表	NFC機器からバイタル情報を簡単に取り込める機能を有すること
6-2-10	患者認証	看護業務支援	経過表	NFC機器からバイタル情報取込時に患者氏名を用意に認識できる機能を有すること
6-3-1	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	患者選択後、当該患者への指示情報（伝票名）がスケジュールとして確認できる機能を有すること。
6-3-2	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	指示情報のスケジュールは、指示の状態（指示受け済、指示確認済み、実施中、実施済等）を表せる機能を有すること。
6-3-3	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	確認画面起動時の勤務帯（深夜・日勤・準夜）を判断し、その勤務帯の指示情報（伝票名）を初期表示できる機能を有すること。
6-3-4	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	指示情報（伝票名）をクリックすると、内容の詳細が画面を切替えることなく確認できる機能を有すること。
6-3-5	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	1画面の表示量を考慮し、勤務帯毎に指示情報が確認できる機能を有すること。
6-3-6	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	伝票の絞り込み機能を有すること。
6-3-7	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	指示情報が時系列で確認できる機能を有すること。時間指定の無い指示は、非時系列として勤務帯を変えても常に表示される機能を有すること。
6-3-8	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	過去および未来の指示スケジュール情報の確認が行える機能を有すること。
6-3-9	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	注射、輸血、検査のオーダ項目は認証機能に切替える機能を有すること。
6-3-10	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	看護指示オーダ、処置オーダ、処方オーダ項目の実施入力を行える機能を有すること。
6-3-11	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	看護指示オーダ、処置オーダ、処方オーダ項目の未実施入力を行える機能を有すること。
6-3-12	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	処置オーダについては実施入力時に材料の数量を変更できる機能を有すること。
6-3-13	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	処置オーダについては実施入力時に材料バーコードを読み取って、材料を追加できる機能を有すること。
6-3-14	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	患者選択後、当該患者への指示された指示簿指示オーダ項目をスケジュールとして確認できる機能を有すること。
6-3-15	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	確認画面起動時の勤務帯（深夜・日勤・準夜）を判断し、その勤務帯の指示されている指示簿指示オーダ項目を初期表示できる機能を有すること。
6-3-16	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	指示簿指示オーダ項目を選択すると、内容の詳細を確認できる機能を有すること。
6-3-17	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	指示簿指示オーダ項目の実施入力を行える機能を有すること。
6-3-18	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	指示簿指示オーダ項目の未実施入力を行える機能を有すること。
6-3-19	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	オーダの実施と同時に電子カルテシステムにリアルタイムに実施日時、実施者、コメント等が記録される機能を有すること。
6-3-20	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	指示簿指示オーダ項目の実施入力時、指示情報が処置行為に結びつく設定となっている場合、コスト連携ができる機能を有すること。
6-3-21	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	1画面の表示量を考慮し、勤務帯毎に指示情報を確認できる機能を有すること。
6-3-22	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	指示情報が時系列で確認できること。かつ、時間指定の無い指示は、非時系列として勤務帯を変えても常に表示できる機能を有すること。
6-3-23	患者認証	看護業務支援	オーダー一覧	過去および未来の指示簿指示オーダ情報の確認が行える機能を有すること。
6-4-1	患者認証	看護業務支援	処方オーダー一括実施	選択中の勤務帯での実施中・未実施オーダを全てRP単位で表示すること。かつ、実施予定時刻が同じオーダをグループ化して表示すること。
6-4-2	患者認証	看護業務支援	処方オーダー一括実施	オーダー一覧において、各オーダの薬剤名、1回量、薬剤コメント（あれば表示）、用法、用法コメント（あれば表示）を表示すること。
6-4-3	患者認証	看護業務支援	処方オーダー一括実施	複数の処方指示をまとめて選択・実施することができること。

6-4-4	患者認証	看護業務支援	処方オーダー 括実施	入力内容を保存する前に、選択したオーダに含まれる薬剤の薬剤名が表示された確認用のポップアップが表示されること
6-4-5	患者認証	看護業務支援	処方オーダー 括実施	オーダ実施直前に他の画面に表示しようとすると、実施忘れの防止のために確認画面を表示させる機能を有すること。
6-5-1	患者認証	看護業務支援	写真登録	患者と紐づけた写真がカルテに保存できること。
6-5-2	患者認証	看護業務支援	写真登録	写真登録機能の写真データは端末に保持されない機能を有すること。
6-5-3	患者認証	看護業務支援	写真登録	連続撮影が可能なこと。
6-5-4	患者認証	看護業務支援	写真登録	連続撮影後、撮影した写真を一覧にて表示し、保存する写真を選択できること。
6-5-5	患者認証	看護業務支援	写真登録	撮影した写真を編集（トリミング/回転/手書き入力）およびコメントを追加できる機能を有すること。
6-5-6	患者認証	看護業務支援	写真登録	撮影した写真をPORTサーバへの保存ができること。
6-6-1	患者認証	看護業務支援	写真登録	写真保存時、ファイル名に挿入する写真種別/診療科を選択できること。
6-6-2	患者認証	看護業務支援	褥瘡経過記録	患者IDのバーコード認証または選択後、当該患者の褥瘡経過を入力できる機能を有すること。
6-7-1	患者認証	看護業務支援	指示受け一覧	未指示受けのオーダを一覧で表示できる機能を有すること。
6-7-2	患者認証	看護業務支援	指示受け一覧	オーダを指示受けできる機能を有すること。
6-8-1	患者認証	看護業務支援	看護記録（SOAP & フォーカス）	該当患者の看護記録（SOAP&フォーカス）の新規入力できる機能を有すること。
6-8-2	患者認証	看護業務支援	看護記録（SOAP & フォーカス）	ワープロ記載、画像を添付した記載、テンプレートの記載が可能であること。
6-8-3	患者認証	看護業務支援	看護記録（SOAP & フォーカス）	電子カルテのマスタを参照して、看護記録の入力形式（SOAP・フォーカス・評価記録・経時記録・サマリ記録等の形式）を選択することができること。
6-8-4	患者認証	看護業務支援	看護記録（SOAP & フォーカス）	電子カルテのマスタを参照して、看護問題、看護計画、フォーカス項目等一覧から記事に選択入力が可能であること。
6-8-5	患者認証	看護業務支援	看護記録（SOAP & フォーカス）	記載の日時に関しては、記載開始の時間が自動的に記載されること。ただし、業務上、実際のケアした時間と記録した時間が異なる場合があるため、日時を変更できること。また、その際には、ケアした時間と、記録した時間の両方を記録できること。
6-8-6	患者認証	看護業務支援	看護記録（SOAP & フォーカス）	シェーマと撮影した画像の編集（トリミング/回転/手書き）が行える機能を有すること。
6-8-7	患者認証	看護業務支援	看護記録（SOAP & フォーカス）	電子カルテのマスタを参照して、定型文から選択して記事に貼り付けができること。
7-1	患者認証	業務時間管理	業務時間管理	利用者ごとにモバイルカルテシステムを使用した時間・機能を一覧から表示できる機能を有すること。
7-2	患者認証	業務時間管理	業務時間管理	表示された情報はCSVに出力できること。
8-1-1	患者認証	セキュリ ティー	共通	セキュリティの観点により、以下の機能を有すること。
8-2-1	患者認証	セキュリ ティー	機体管理	なりすましによる不正利用や紛失、盗難時の情報漏えいを防ぐため、システム利用時に機体番号チェックを専用の認証サーバで行うことで、許可された端末・利用者のみがシステムを利用できる機能を有すること。
8-2-2	患者認証	セキュリ ティー	機体管理	使用する端末と利用者の管理を行えるツールがあること。
8-3-1	患者認証	セキュリ ティー	情報漏えい対 策	モバイル端末に各診療情報を持たない構造であること。
8-3-2	患者認証	セキュリ ティー	情報漏えい対 策	モバイルカルテシステムを一定時間操作しない場合には、自動的にログオフされること。この自動ログオフ機能はセキュリティの観点からモバイル端末のOSが本来有するスクリーンセーバー機能などでは無く、モバイルカルテシステム固有の機能であること。
8-4-1	患者認証	セキュリ ティー	アクセスログ	モバイルカルテシステムを使用したアクセスログを記録する機能を有すること。
8-4-2	患者認証	セキュリ ティー	アクセスログ	アクセス制限が設定されている患者に対する不正アクセスを電子カルテシステムで監視するため、アクセス制限による制限患者選択の失敗（利用者×患者制限）、制限患者のパスワードの入力失敗/ログ記録メッセージへの任意のキャンセル、制限患者のパスワード入力画面でのキャンセルによるのタイミングでアクセスログを記録すること。
8-4-3	患者認証	セキュリ ティー	アクセスログ	電子カルテシステムにて利用者の不正閲覧を監視するため、カルテ情報（カルテ歴/患者掲示板/病名・プロブレム/経過表/レポート）の参照のタイミングでアクセスログを記録すること。

8-4-4	患者認証	セキュリ ティー	アクセスログ	不正ログインを電子カルテシステムで監視するため、存在しない利用者IDでの ログイン/パスワード入力失敗/利用者IDが有効期限前・停止・廃止によるロ グインの失敗のタイミングでアクセスログを記録すること。
8-4-5	患者認証	セキュリ ティー	アクセスログ	定期的に電子カルテサーバのアクセスログデータベースへ更新することで院内 のカルテ閲覧情報を一元管理できること。
9-1	患者認証	データセン ター		機体番号チェックを行う認証サーバーが配置されているデータセンターは、事 業継続性、セキュリティ等の観点から以下の内容を満たしていること。
9-2	患者認証	データセン ター		データセンターについては建物免震により建物および付帯設備が保護されてい ること。
9-3	患者認証	データセン ター		データセンターについてはCASBEE (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency) Sランクに準拠していること。
9-4	患者認証	データセン ター		データセンターの客観的評価として以下の認証を取得していること。
9-5	患者認証	データセン ター		ISO9001（品質マネジメントシステム）を取得していること。
9-6	患者認証	データセン ター		ISO14001（環境マネジメントシステム）を取得していること。
9-7	患者認証	データセン ター		ISO/IEC20000（ITサービスマネジメント）を取得していること。
9-8	患者認証	データセン ター		ISO/IEC27001（情報セキュリティ保証）を取得していること。
9-9	患者認証	データセン ター		プライバシーマークを取得していること。